

経営比較分析表（令和6年度決算）

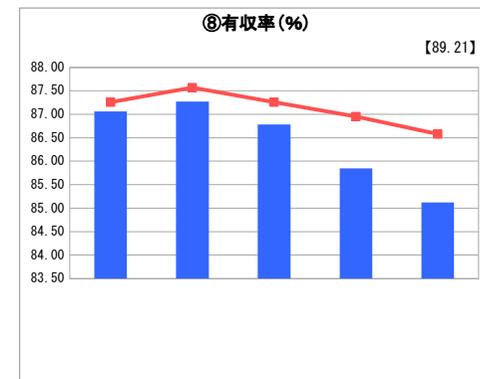
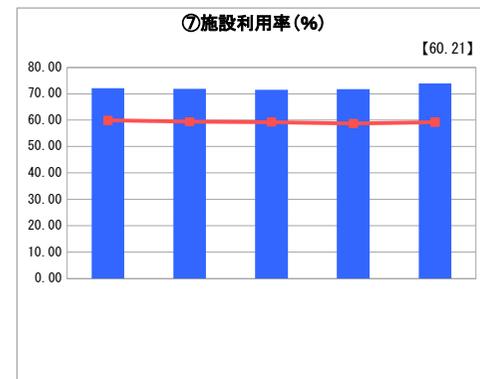
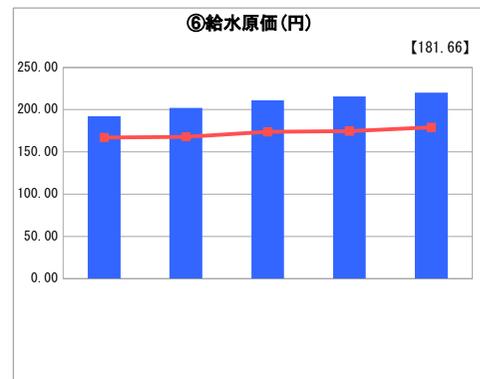
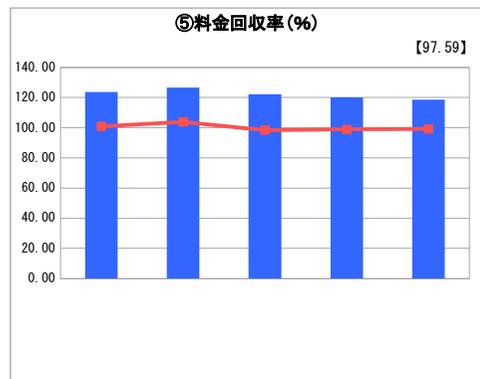
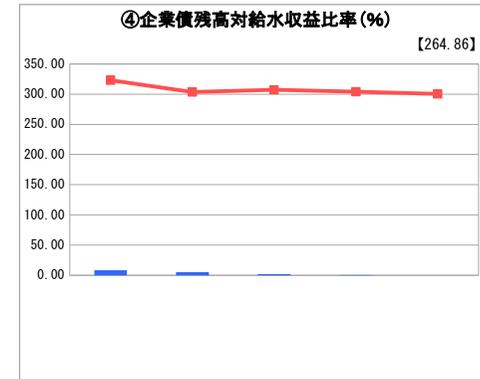
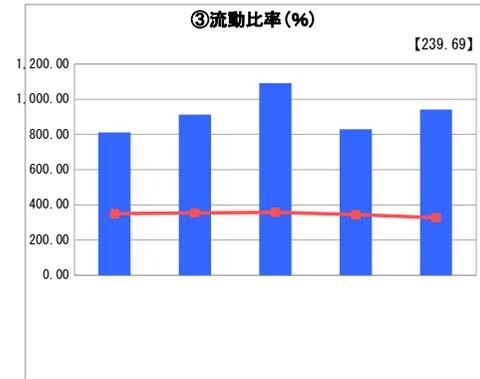
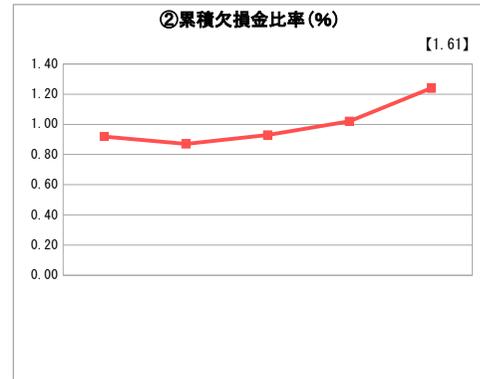
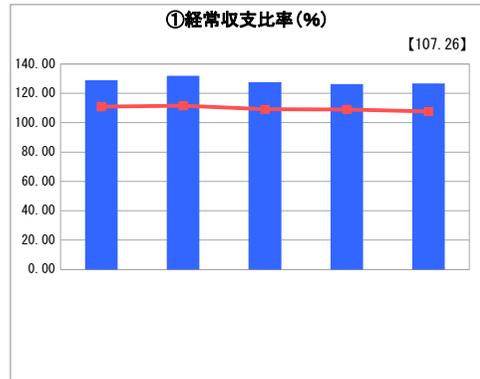
宮城県 名取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	96.67	99.80	3,333	

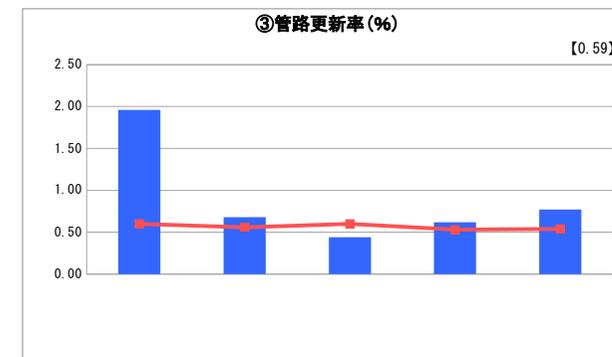
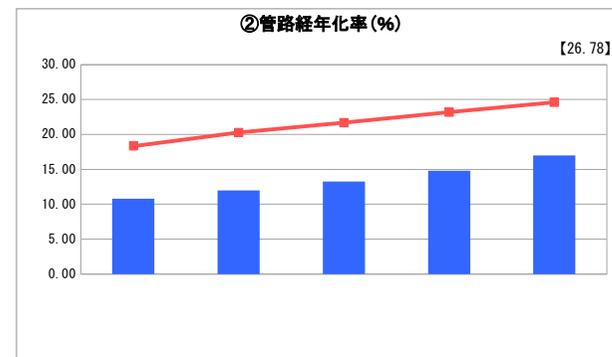
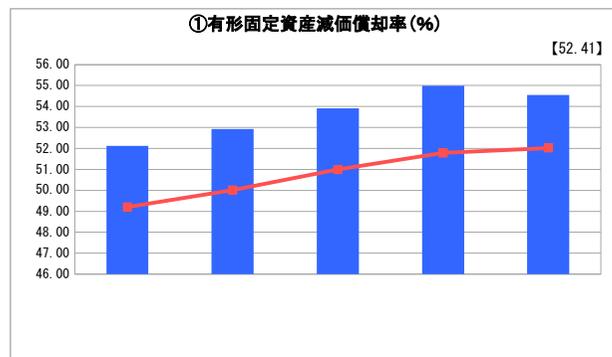
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
79,792	98.18	812.71
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
79,544	98.17	810.27

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年度と比べ、給水収益の増加などの理由から上昇しました。老朽化が進む施設や配水管の更新に伴い、減価償却費の増加が見込まれるなど、長期的には経営状況が厳しくなると考えられます。

②累積欠損金比率については、本市では欠損金残高がないため、発生していません。

③100%を大きく上回る数値を維持できており、一年以内の支払いに対する現金等の保有状況について問題がないと考えられます。

④減少傾向にあった企業債残高対給水収益比率ですが、令和6年度企業債が完済となり、指標は0となりました。

⑤前年度と比べ低下したものの、目安となる100%を上回っており、給水収益の範囲内で給水にかかる費用を賄うことができているといえます。

⑥郵送料などの通信運搬費や固定資産除却費などの増加に伴い、給水原価は前年度と比べ、増加しました。

⑦施設利用率は類似団体平均を上回っています。施設が効率的に稼働している状態です。

⑧前年度と比べ、低下しました。地下漏水に加え、水質維持のための管洗浄用水量の増加等が要因として考えられますが、漏水調査や老朽管路の更新を引き続き進め、改善を図ります。

2. 老朽化の状況について

①浄水場関連設備の更新等により、前年度より指標は低下しました。引き続き、計画的な資産の更新・メンテナンスを行っていきます。

②管路経年化率は類似団体平均を下回っているものの、昭和50年前後に布設された配水管が耐用年数を迎えるにつれて、増加傾向となっています。

③管路更新率は昨年度に続いて増加となりました。今後も「アセットマネジメント」における更新需要に基づいて、計画的に更新を行います。

全体総括

全国的な課題ではありますが、当市においても老朽化施設・配水管の更新費用の増加など、将来的に経営状況は厳しくなる見込みです。また、熟練職員の退職、技術の空洞化といった課題もある中、引き続き、安心・安全な水道水の安定供給を行うべく、水需要に沿った施設規模の最適化・人材育成を行うなど、計画的に事業を進めてまいります。